

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
  - TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
  - FADED TEXT
  - ILLEGIBLE TEXT
  - SKEWED/SLANTED IMAGES
  - COLORED PHOTOS
  - BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- 
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**



#2  
135  
03-18-02

**PATENT APPLICATION**  
**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

In re application of

Hajime ASHIHARA

Appln. No.: 09/986,554

Group Art Unit: 2161

Confirmation No.: 5906

Examiner: Unknown

Filed: November 09, 2001

For: METHOD AND SYSTEM FOR ORDERING SALES ITEMS

**RECEIVED**

**JAN 10 2002**

**Technology Center 2100**

**SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT**

Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

Sir:

Submitted herewith is a certified copy of the priority document on which a claim to priority was made under 35 U.S.C. § 119. The Examiner is respectfully requested to acknowledge receipt of said priority document.

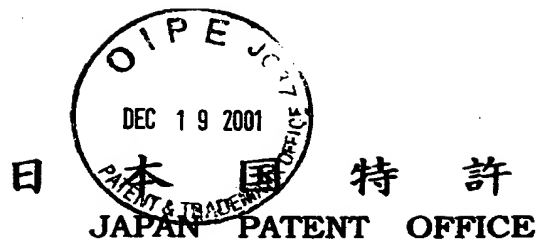
Respectfully submitted,

J. Frank Osha  
Registration No. 24,625

SUGHRUE MION, PLLC  
2100 Pennsylvania Avenue, N.W.  
Washington, D.C. 20037-3213  
Telephone: (202) 293-7060  
Facsimile: (202) 293-7860

Enclosures: Japan 2000-343151

Date: December 19, 2001



H. Ashihara  
89/986,554  
Filed 11/9/01  
Q67202

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

RECEIVED

JAN 10 2002

Technology Center 2100

出願年月日

Date of Application:

2000年11月10日

出願番号

Application Number:

特願2000-343151

出願人

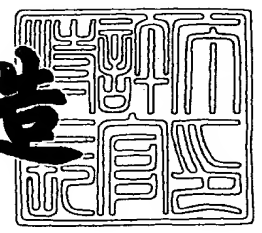
Applicant(s):

エヌイーシーインフロンティア株式会社

2001年11月 9日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3098202

【書類名】 特許願

【整理番号】 62620028

【提出日】 平成12年11月10日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内

    【氏名】 芦原 肇

【特許出願人】

    【識別番号】 000004237

    【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100088959

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 境 廣巳

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 009715

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

    【物件名】 要約書 1

    【包括委任状番号】 9002136

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 商品購入代行方法、商品購入代行システム、代行者端末及びプログラムを記録した機械読み取り可能な記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザ端末と代行者端末とがネットワークを介して相互に接続されたネットワークシステムに於ける商品購入代行方法であって、

前記代行者端末が、複数の商品の商品情報が載った商品カタログを前記ユーザ端末へ送信し、

前記ユーザ端末が、前記代行者端末から送られてきた商品カタログを表示装置に表示し、ユーザによって選択された前記商品カタログ中の商品に対する購入代行依頼を前記代行者端末へ送信することを特徴とする商品購入代行方法。

【請求項 2】 ユーザ端末と代行者端末とがネットワークを介して相互に接続されたネットワークシステムに於ける商品購入代行方法であって、

前記代行者端末が、複数の商品の商品情報が載った商品カタログを前記ユーザ端末へ送信し、

前記ユーザ端末が、前記代行者端末から送られてきた商品カタログを表示装置に表示し、ユーザによって選択された前記商品カタログ中の下見対象商品の下見に要する費用の見積依頼を前記代行者端末へ送信し、

前記代行者端末が、前記ユーザ端末からの見積依頼に応答して前記下見対象商品の下見に要する費用を算出し、該算出した費用を含む下見見積を前記ユーザ端末へ送信し、

前記ユーザ端末が、前記代行者端末から送られてきた下見見積を前記表示装置に表示し、該下見見積で示される条件に合意した前記ユーザの指示に従って前記下見対象商品の下見申込を前記代行者端末へ送信し、

前記代行者端末が、下見申込の行われた前記下見対象商品に対して代行者が行った下見の下見結果を前記ユーザ端末へ送信し、

前記ユーザ端末が、前記代行者端末から送られてくる下見結果を前記表示装置に表示し、前記ユーザの指示に従って前記下見結果に係る下見対象商品に対する購入代行依頼を前記代行者端末へ送信することを特徴とする商品購入代行方法。

【請求項 3】 請求項 2 記載の商品購入代行方法に於いて、

前記ユーザ端末が、前記ユーザの操作に従って、前記ユーザが探索を希望する前記商品カタログには載っていない探索希望商品の探索条件を含んだ、前記探索希望商品の探索に要する費用の見積依頼を前記代行者端末へ送信し、

前記代行者端末が、前記ユーザ端末からの見積依頼に応答して前記探索希望商品の探索に要する費用を算出し、該算出した費用を含む探索見積を前記ユーザ端末へ送信し、

前記ユーザ端末が、前記代行者端末から送られてきた前記探索見積を前記表示装置に表示し、該探索見積で示される条件に合意した前記ユーザの指示に従って前記探索希望商品の探索申込を前記代行者端末へ送信し、

前記代行者端末が、前記探索希望商品の探索条件に基づいて代行者が探索した商品の商品情報を含む探索結果を前記ユーザ端末へ送信し、

前記ユーザ端末が、前記代行者端末から送られてくる探索結果を前記表示装置に表示し、前記ユーザの指示に従って前記探索結果に係る商品に対する購入代行依頼を前記代行者端末へ送信することを特徴とする商品購入代行方法。

【請求項 4】 請求項 3 記載の商品購入代行方法に於いて、

前記代行者端末が、前記ユーザ端末から下見申込が送られてきた後、前記ユーザ端末に対して前記下見見積に含まれている金額を含む下見費用請求を送信し、前記ユーザ端末から探索申込が送られてきた後、前記ユーザ端末に対して前記探索見積に含まれている金額を含む探索費用請求を送信することを特徴とする商品購入代行方法。

【請求項 5】 請求項 1, 2, 3 または 4 記載の商品購入代行方法に於いて

前記ネットワークが、インターネットであることを特徴とする商品購入代行方法。

【請求項 6】 ユーザ端末と代行者端末とがネットワークを介して相互に接続されたネットワークシステムに於ける商品購入代行システムであって、

前記代行者端末が、

複数の商品の商品情報が載った商品カタログを前記ユーザ端末へ送信する商品

カタログ送信手段を備え、

前記ユーザ端末が、

前記代行者端末から送られてきた商品カタログを表示装置に表示する表示制御手段と、

ユーザによって選択された前記商品カタログ中の商品に対する購入代行依頼を前記代行者端末へ送信する購入代行依頼手段とを備えたことを特徴とする商品購入代行システム。

【請求項 7】 ユーザ端末と代行者端末とがネットワークを介して相互に接続されたネットワークシステムに於ける商品購入代行システムであって、

前記ユーザ端末が、

前記代行者端末から送られてくる商品カタログ、下見見積、下見結果を表示装置に表示する表示制御手段と、

ユーザによって選択された前記商品カタログ中の下見対象商品の下見に要する費用の見積依頼を前記代行者端末へ送信する下見見積依頼手段と、

前記表示された下見見積で示される条件に合意した前記ユーザの指示に従って前記下見対象商品の下見申込を前記代行者端末へ送信する下見申込手段と、

前記ユーザの指示に従って前記下見結果に係る下見対象商品に対する購入代行依頼を前記代行者端末へ送信する購入代行依頼手段とを備え、

前記代行者端末が、

前記ユーザ端末に対して複数の商品の商品情報が載った商品カタログを送信する商品カタログ送信手段と、

前記ユーザ端末からの見積依頼に応答して前記下見対象商品の下見に要する費用を算出し、該算出した費用を含む下見見積を前記ユーザ端末へ送信する下見見積手段と、

前記ユーザ端末によって下見申込の行われた前記下見対象商品に対して代行者が行った下見の下見結果を前記ユーザ端末へ送信する下見結果管理手段とを備えたことを特徴とする商品購入代行システム。

【請求項 8】 請求項 7 記載の商品購入代行システムに於いて、

前記表示制御手段が、前記代行者端末から送られてきた探索見積を前記表示装

置に表示する構成を有し、

前記購入代行依頼手段が、前記ユーザの指示に従って探索結果に係る商品に対する購入代行依頼を前記代行者端末へ送信する構成を有し、且つ、

前記ユーザ端末が、

前記ユーザの操作に従って、前記ユーザが探索を希望する前記商品カタログには載っていない探索希望商品の探索条件を含んだ、前記探索希望商品の探索に要する費用の見積依頼を前記代行者端末へ送信する探索見積依頼手段と、

前記表示装置に表示された探索見積で示される条件に合意した前記ユーザの指示に従って、前記探索希望商品の探索申込を前記代行者端末へ送信する探索申込手段とを備え、

前記代行者端末が、

前記ユーザ端末からの見積依頼に応答して前記探索希望商品の探索に要する費用を算出し、該算出した費用を含む探索見積を前記ユーザ端末へ送信する探索見積手段と、

前記探索希望商品の探索条件に基づいて代行者が探索した商品の商品情報を含む探索結果を前記ユーザ端末へ送信する探索結果管理手段とを備えたことを特徴とする商品購入代行システム。

【請求項 9】 請求項 8 記載の商品購入代行システムに於いて、

前記下見見積手段が、前記ユーザ端末から下見申込が送られてきた後、前記ユーザ端末に対して前記下見見積に含まれている金額を含む下見費用請求を送信する構成を有し、

前記探索見積手段が、前記ユーザ端末から探索申込が送られてきた後、前記ユーザ端末に対して前記探索見積に含まれている金額を含む探索費用請求を送信する構成を有することを特徴とする商品購入代行システム。

【請求項 10】 請求項 6, 7, 8 または 9 記載の商品購入代行システムに於いて、

前記ネットワークが、インターネットであることを特徴とする商品購入代行システム。

【請求項 11】 ネットワークを介してユーザ端末と相互に接続される代行



者端末であって、

前記ユーザ端末に対して複数の商品の商品情報が載った商品カタログを送信する商品カタログ送信手段と、

前記ユーザ端末からの見積依頼に応答して下見対象商品の下見に要する費用を算出し、該算出した費用を含む下見見積を前記ユーザ端末へ送信する下見見積手段と、

前記ユーザ端末によって下見申込の行われた前記下見対象商品に対して代行者が行った下見の下見結果を前記ユーザ端末へ送信する下見結果管理手段とを備えたことを特徴とする代行者端末。

【請求項 1 2】 請求項 1 1 記載の代行者端末に於いて、

前記ユーザ端末からの見積依頼に応答して探索希望商品の探索に要する費用を算出し、該算出した費用を含む探索見積を前記ユーザ端末へ送信する探索見積手段と、

前記探索希望商品の探索条件に基づいて代行者が探索した商品の商品情報を含む探索結果を前記ユーザ端末へ送信する探索結果管理手段とを備えたことを特徴とする代行者端末。

【請求項 1 3】 ユーザ端末用コンピュータと代行者端末用コンピュータとがネットワークを介して相互に接続されたネットワークシステムに於ける商品購入代行システムを実現するためのプログラムを記録した機械読み取り可能な記録媒体であって、

前記代行者端末用コンピュータを、

複数の商品の商品情報が載った商品カタログを前記ユーザ端末用コンピュータへ送信する商品カタログ送信手段として機能させ、

前記ユーザ端末用コンピュータを、

前記代行者端末用コンピュータから送られてきた商品カタログを表示装置に表示する表示制御手段、

ユーザによって選択された前記商品カタログ中の商品に対する購入代行依頼を前記代行者端末用コンピュータへ送信する購入代行依頼手段として機能させるためのプログラムを記録したことを特徴とするプログラムを記録した機械読み取り

可能な記録媒体。

【請求項 1 4】 ユーザ端末用コンピュータと代行者端末用コンピュータとがネットワークを介して相互に接続されたネットワークシステムに於ける商品購入代行システムを実現するためのプログラムを記録した機械読み取り可能な記録媒体であって、

前記ユーザ端末用コンピュータを、

前記代行者端末用コンピュータから送られてくる商品カタログ、下見見積、下見結果を表示装置に表示する表示制御手段、

ユーザによって選択された前記商品カタログ中の下見対象商品の下見に要する費用の見積依頼を前記代行者端末用コンピュータへ送信する下見見積依頼手段、

前記表示された下見見積で示される条件に合意した前記ユーザの指示に従って前記下見対象商品の下見申込を前記代行者端末用コンピュータへ送信する下見申込手段、

前記ユーザの指示に従って前記下見結果に係る下見対象商品に対する購入代行依頼を前記代行者端末用コンピュータへ送信する購入代行依頼手段として機能させ、

前記代行者端末用コンピュータを、

前記ユーザ端末用コンピュータに対して複数の商品の商品情報が載った商品カタログを送信する商品カタログ送信手段、

前記ユーザ端末用コンピュータからの見積依頼に応答して前記下見対象商品の下見に要する費用を算出し、該算出した費用を含む下見見積を前記ユーザ端末用コンピュータへ送信する下見見積手段、

前記ユーザ端末用コンピュータによって下見申込の行われた前記下見対象商品に対して代行者が行った下見の下見結果を前記ユーザ端末用コンピュータへ送信する下見結果管理手段として機能させるためのプログラムを記録したことを特徴とするプログラムを記録した機械読み取り可能な記録媒体。

【請求項 1 5】 前記表示制御手段に、前記代行者端末用コンピュータから送られてきた探索見積を前記表示装置に表示する機能を持たせ、

前記購入代行依頼手段に、前記ユーザの指示に従って探索結果に係る商品に対

する購入代行依頼を前記代行者端末用コンピュータへ送信する機能を持たせ、

前記ユーザ端末用コンピュータを、

前記ユーザの操作に従って、前記ユーザが探索を希望する前記商品カタログには載っていない探索希望商品の探索条件を含んだ、前記探索希望商品の探索に要する費用の見積依頼を前記代行者端末用コンピュータへ送信する探索見積依頼手段、

前記表示装置に表示された探索見積で示される条件に合意した前記ユーザの指示に従って、前記探索希望商品の探索申込を前記代行者端末用コンピュータへ送信する探索申込手段として機能させ、

前記代行者端末用コンピュータを、

前記ユーザ端末用コンピュータからの見積依頼に応答して前記探索希望商品の探索に要する費用を算出し、該算出した費用を含む探索見積を前記ユーザ端末用コンピュータへ送信する探索見積手段、

前記探索希望商品の探索条件に基づいて代行者が探索した商品の商品情報を含む探索結果を前記ユーザ端末用コンピュータへ送信する探索結果管理手段として機能させるためのプログラムを記録したことを特徴とする請求項 1 4 記載のプログラムを記録した機械読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワーク販売を利用していない店舗で扱われている商品の購入代行技術に関し、特に、商品購入前に注文者が代行者に対して購入予定商品の下見を依頼したり、注文者のイメージに合う商品の探索を依頼することができる商品購入代行技術に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

携帯電話、PHSを含む通信インフラの急激な整備、パーソナルコンピュータに代表される情報処理装置の普及、そして何よりもその手軽さから飛躍的に普及したインターネットを利用した商品販売は既に常識的に行われている（例えば、

特開2000-99585号公報，特開平9-330360号公報等）。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

インターネットにさえ接続されていれば、消費者と販売者の間の距離はほとんど意識する必要のないことにさえ思われる。しかし、ここで見逃してはならないのは、世の中には未だにインターネットとは無縁のところで販売されている商品が多く存在するということである。当然のことながら、このような商品は、ネットワーク販売では購入することができないため、消費者が直接販売店に出向いて購入しなければならず、消費者の負担が大きなものになってしまう。

【0004】

また、インターネット販売は、見方を変えればカタログ販売と同じようなものであり、大きな違いは場所を取らずに有りとあらゆる世界中の商品情報を入手できる点である。しかし、インターネット販売に於いても、利用者にはネットワークを介して販売者が用意している商品情報が提供されるだけであり、消費者はこの商品情報のみに基づいて購入商品を決定しなければならない。このため、実際に購入した商品が、商品情報を見てイメージした商品と異なるものになってしまう場合がある。

【0005】

そこで、本発明の目的は、ネットワーク販売を利用していない店舗で販売されている商品を消費者が直接販売店に出向くことなく購入できるようにすると共に、代行者が提供している商品情報だけでは判らない商品の特徴を消費者が事前に認識できるようにすることにより、消費者のイメージに合った商品を購入できるようにすることにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明の商品購入代行システムは、ネットワーク販売を利用していない店舗で販売されている商品を消費者（ユーザ）が直接販売店に出向くことなく購入できるようにするため、

ユーザ端末と代行者端末とがネットワークを介して相互に接続されたネットワ

ークシステムに於ける商品購入代行システムであって、

前記代行者端末が、

複数の商品の商品情報が載った商品カタログを前記ユーザ端末へ送信する商品カタログ送信手段を備え、

前記ユーザ端末が、

前記代行者端末から送られてきた商品カタログを表示装置に表示する表示制御手段と、

ユーザによって選択された前記商品カタログ中の商品に対する購入代行依頼を前記代行者端末へ送信する購入代行依頼手段とを備えている。

【0007】

この構成によれば、ユーザが商品カタログ中から購入代行を希望する商品を選択すると、購入代行依頼手段が、上記商品の購入代行依頼をネットワークを介して代行者端末へ送る。代行者は、ユーザ端末からの購入代行依頼に従って、上記商品を購入する。

【0008】

また、本発明の商品購入代行システムは、代行者端末が提供している商品カタログに載っている商品情報だけでは判らない商品の特徴を消費者が事前に取得できるようにするため、

ユーザ端末と代行者端末とがネットワークを介して相互に接続されたネットワークシステムに於ける商品購入代行システムであって、

前記ユーザ端末が、

前記代行者端末から送られてくる商品カタログ、下見見積、下見結果を表示装置に表示する表示制御手段と、

ユーザによって選択された前記商品カタログ中の下見対象商品の下見に要する費用の見積依頼を前記代行者端末へ送信する下見見積依頼手段と、

前記表示された下見見積で示される条件に合意した前記ユーザの指示に従って前記下見対象商品の下見申込を前記代行者端末へ送信する下見申込手段と、

前記ユーザの指示に従って前記下見結果に係る下見対象商品に対する購入代行依頼を前記代行者端末へ送信する購入代行依頼手段とを備え、

前記代行者端末が、

前記ユーザ端末に対して複数の商品の商品情報が載った商品カタログを送信する商品カタログ送信手段と、

前記ユーザ端末からの見積依頼に応答して前記下見対象商品の下見に要する費用を算出し、該算出した費用を含む下見見積を前記ユーザ端末へ送信する下見見積手段と、

前記ユーザ端末によって下見申込の行われた前記下見対象商品に対して代行者が行った下見の下見結果を前記ユーザ端末へ送信する下見結果管理手段とを備えている。

#### 【0009】

この構成によれば、ユーザ端末内の下見見積依頼手段が、ユーザによって選択された下見対象商品の下見に要する費用の見積依頼を代行者端末へ送ると、代行者端末内の下見見積手段が、下見に要する費用を算出し、その費用を含む下見見積をユーザ端末へ送る。この下見見積は、ユーザ端末の表示装置に表示される。ユーザ端末内の下見申込手段は、上記下見見積が示す条件に合意したユーザの指示に従って代行者端末に対して上記下見対象商品の下見申込を行い、代行者がユーザに代わって下見対象商品の下見を行う。その下見結果は、代行者端末内の下見結果管理手段により、ユーザ端末へ送られる。

#### 【0010】

更に、本発明の商品購入代行システムは、代行者端末が提供している商品カタログに載っていない、ユーザが希望する商品の購入を、ユーザが実際に販売店に出向くことなく行えるようにするため、

前記表示制御手段が、前記代行者端末から送られてきた探索見積を前記表示装置に表示する構成を有し、

前記購入代行依頼手段が、前記ユーザの指示に従って探索結果に係る商品に対する購入代行依頼を前記代行者端末へ送信する構成を有し、且つ、

前記ユーザ端末が、

前記ユーザの操作に従って、前記ユーザが探索を希望する前記商品カタログには載っていない探索希望商品の探索条件を含んだ、前記探索希望商品の探索に要

する費用の見積依頼を前記代行者端末へ送信する探索見積依頼手段と、

前記表示装置に表示された探索見積で示される条件に合意した前記ユーザの指示に従って、前記探索希望商品の探索申込を前記代行者端末へ送信する探索申込手段とを備え、

前記代行者端末が、

前記ユーザ端末からの見積依頼に応答して前記探索希望商品の探索に要する費用を算出し、該算出した費用を含む探索見積を前記ユーザ端末へ送信する探索見積手段と、

前記探索希望商品の探索条件に基づいて代行者が探索した商品の商品情報を含む探索結果を前記ユーザ端末へ送信する探索結果管理手段とを備えている。

#### 【 0 0 1 1 】

この構成によれば、ユーザ端末内の探索見積依頼手段が、探索希望商品の探索に要する費用の見積依頼を代行者端末へ送信し、代行者端末内の探索見積手段が、上記探索希望商品の探索に要する費用を算出し、その費用を含む探索見積をユーザ端末へ送信する。この探索見積は、ユーザ端末の表示装置に表示される。ユーザ端末内の探索申込手段は、上記探索見積が示す条件に合意したユーザの指示に従って代行者端末に対して商品の探索申込を行い、代行者がユーザに代わって商品の探索を行う。その探索結果は、代行者端末内の探索結果管理手段により、ユーザ端末へ送られる。探索された商品が希望するものであった場合は、ユーザは、購入代行依頼手段を用いて、上記商品の購入代行業を代行者に依頼する。

#### 【 0 0 1 2 】

##### 【発明の実施の形態】

次に本発明の実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。

#### 【 0 0 1 3 】

図 1 は本発明に係る商品購入代行システムの実施例のブロック図である。図 1 を参照すると、本実施例の商品購入代行システムは、複数台のユーザ端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n と、代行者端末 2 0 と、これらを相互に接続するインターネット等のネットワーク 1 0 0 とから構成されている。本実施例の商品購入代行システムに於いては、ユーザ端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n のユーザからの依頼に応じて、代行

者端末20の代行者40が、ネットワーク販売を実施していない販売店30-1～30-jへ出向いて商品の下見，探索，購入代行を行う。

【0014】

ユーザ端末10-1～10-nは、パーソナルコンピュータ等の情報処理装置であり、商品の下見サービス，探索サービス，購入代行サービスを代行者端末20に対して依頼する機能等を有している。

【0015】

図2は上記した機能を有するユーザ端末10-1の構成例を示すブロック図であり、表示制御手段101と、下見見積依頼手段102と、下見申込手段103と、探索見積依頼手段104と、探索申込手段105と、購入代行依頼手段106と、送受信部107と、キーボード，マウス，画像入力装置等の入力装置108と、LCD等の表示装置109と、記憶装置110と、記録媒体K1とを備えている。尚、他のユーザ端末も同様の構成を有している。

【0016】

送受信部107は、ネットワーク100を介して代行者端末20との間でデータをやり取りする機能を有する。

【0017】

表示制御手段101は、ネットワーク100を介して代行者端末20から送られてくる商品カタログ，サービスメニュー，下見見積，探索見積，下見結果，探索結果等を表示装置109の画面に表示する機能を有する。

【0018】

下見見積依頼手段102は、ユーザが入力装置108を用いて表示装置109の画面上で行う操作に従って、ユーザが指定した下見対象商品の下見に要する費用の見積依頼（下見見積依頼）を代行者端末20へ送信する機能を有する。

【0019】

下見申込手段103は、ユーザが入力装置108を用いて画面上で行う操作に従って、下見対象商品に対する下見サービスを申し込む下見申込を代行者端末20へ送信する機能を有する。

【0020】



探索見積依頼手段104は、ユーザが入力装置108を用いて画面上で行う操作に従って、ユーザが指定した探索希望商品の下見に要する費用の見積依頼（探索見積依頼）を代行者端末20へ送信する機能を有する。

【0021】

探索申込手段105は、ユーザが入力装置108を用いて画面上で行う操作に従って、探索希望商品に対する探索サービスを申し込む探索申込を代行者端末20へ送信する機能を有する。

【0022】

購入代行依頼手段106は、ユーザが入力装置108を用いて画面上で行う操作に従って、購入代行依頼を代行者端末20へ送信する機能を有する。

【0023】

記録媒体K1は、ディスク、半導体メモリ、その他の記録媒体であり、コンピュータからなるユーザ端末10-1を商品購入代行システムの一部として機能させるためのプログラムが記録されている。このプログラムは、ユーザ端末10-1によって読み取られ、ユーザ端末10-1の動作を制御することで、ユーザ端末10-1上に、表示制御手段101、下見見積依頼手段102、下見申込手段103、探索見積依頼手段104、探索申込手段105、購入代行依頼手段106を実現する。

【0024】

代行者端末20は、パーソナルコンピュータ等の情報処理装置によって構成される。この代行者端末20は、ネットワーク100上に複数の商品の商品情報が載った商品カタログを提供する機能を備えている。商品カタログには、主にごく少数の限られた販売店でしか扱っていない希少価値商品、ハンドメイド商品等の商品情報が載せられる。また、商品情報は、商品名、概要説明、詳細説明、価格、販売店名、販売店の最寄り駅等を含んでいる。

【0025】

更に、代行者端末20は、各ユーザ端末10-1～10-nからの下見見積依頼、探索見積依頼、下見申込、探索申込を受け付け、受け付けた依頼、申込に応じた処理を行う機能や、代行者40が行った商品の下見結果や、商品の探索結果

を管理する機能等を有する。

#### 【0026】

図3は上記した機能を有する代行者端末20の構成例を示すブロック図であり、商品カタログサービスメニュー送信手段201と、下見見積手段202と、下見結果管理手段203と、探索見積手段204と、探索結果管理手段205と、購入代行依頼受付手段206と、送受信部207と、キーボード、マウス、画像入力装置等の入力装置208と、LCD等の表示装置209と、記憶装置210と、記録媒体K2とを備えている。

#### 【0027】

記憶装置210には、商品カタログ記憶部211と、サービスメニュー記憶部212と、下見探索結果記憶部213と、見積用情報記憶部214と、サービス申込記憶部215と、購入代行依頼記憶部216と、ユーザ情報記憶部217とが設けられている。

#### 【0028】

商品カタログ記憶部211は、複数の商品の商品情報がカテゴリ分けされて載っている商品カタログを記憶している。サービスメニュー記憶部212には、下見サービス用、探索サービス用等の各種サービスメニュー情報が格納されている。下見探索結果記憶部213には、代行者40が行った商品の下見結果、探索結果が格納される。見積用情報記憶部214には、商品の下見、探索を行う際にかかる費用を見積もるために必要になる情報が格納されている。サービス申込記憶部216には、ユーザ端末10-1~10-nから送られてきた下見申込、探索申込が格納される。購入代行依頼記憶部216には、ユーザ端末10-1~10-nから送られてきた購入代行依頼が格納される。ユーザ情報記憶部217には、各ユーザ端末10-1~10-nのユーザに付与されているユーザ番号に対応付けて、パスワード、ネットワークアドレス、商品の配達先等が格納されている。

#### 【0029】

送受信部207は、ネットワーク100を介してユーザ端末10-1~10-nとの間でデータをやり取りする機能を有する。

## 【0030】

商品カタログサービスメニュー送信手段201は、ユーザ端末10-i ( $1 \leq i \leq n$ ) からアクセスがあった時、商品カタログ記憶部211に格納されている商品カタログ及びサービスメニュー記憶部212に格納されているサービスメニュー情報をユーザ端末10-iへ送信する機能を有する。

## 【0031】

下見見積手段202は、ユーザ端末10-iから下見見積依頼が送られてきた時、下見対象商品の下見に要する費用を算出し、算出結果を含む下見見積をユーザ端末10-iへ送信する機能や、ユーザ端末10-iから下見申込が送られてきた時、それをサービス申込記憶部215に格納する機能を有する。

## 【0032】

下見結果管理手段203は、ユーザ端末10-iからの下見申込に従って代行者40が下見した下見結果を下見探索結果記憶部213に格納する機能や、ユーザ端末10-iに下見が完了したことを通知する機能や、ユーザ端末10-iに対して下見結果を送信する機能等を有する。

## 【0033】

探索見積手段204は、ユーザ端末10-iから探索見積依頼が送られてきた時、探索に要する費用を算出し、算出した費用を含む探索見積をユーザ端末10-iへ送信する機能や、ユーザ端末10-iから探索申込が送られてきた時、それをサービス申込記憶部215に格納する機能を有する。

## 【0034】

探索結果管理手段205は、ユーザ端末10-iからの探索申込に従って代行者40が探索した探索結果を下見探索結果記憶部213に格納する機能や、ユーザ端末10-iに探索が完了したことを通知する機能や、ユーザ端末10-iに対して探索結果を送信する機能等を有する。

## 【0035】

購入代行依頼受付手段206は、ユーザ端末10-iから送られてきた購入代行依頼を購入代行依頼記憶部216に格納したり、表示装置209に表示する機能等を有する。

## 【0036】

## 【実施例の動作の説明】

次に、各図を参照して本実施例の動作について詳細に説明する。尚、以降の説明では、ネットワーク100はインターネットであるとする。

## 【0037】

先ず、ユーザ端末10-iのユーザが、商品下見サービスを利用する場合の動作を説明する。図4を参照すると、ユーザは、ユーザ端末10-iを介して、代行者端末20がインターネット100上に開設している商品購入代行ホームページにアクセスし、ユーザ番号とパスワードとを送信する（ステップA1）。これに応答して、代行者端末20内の商品カタログサービスメニュー送信手段201は、パスワードによる本人認証を行い、本人であることを確認した場合は、商品カタログ記憶部211、サービスメニュー記憶部212に格納されている商品カタログ、各種サービスメニュー情報をユーザ端末10-iに送信する（ステップA2）。

## 【0038】

ユーザ端末10-i内の表示制御手段101は、代行者端末20から送られてきた情報を記憶装置110に格納すると共に、代行者端末20から送られてきた情報に従って代行者端末20が扱っている商品のカテゴリを示す情報を表示装置109の画面上に表示する。その後、ユーザが画面上でカテゴリ（例えば、「おもちゃ」）を指定すると、表示制御手段101は、指定されたカテゴリ「おもちゃ」に属する商品情報の一覧を含む、図5に示すような取扱商品一覧画面を表示装置109の画面上に表示する（ステップA3）。同図に示すように、商品情報には、商品番号と、商品名と、概要説明と、価格と、販売店名と、最寄り駅とが含まれている。また、取扱商品一覧画面には、各商品情報毎の「詳細」ボタン（画面右）や、カテゴリ選択欄（画面下）が設けられている。

## 【0039】

ユーザは、取扱商品一覧画面中の或る商品Xについて更に詳しい情報を参照したい場合には、商品Xに対応して設けられている「詳細」ボタンをマウスでクリックする。これにより、表示制御手段101は、記憶装置110に保存されてい

る代行者端末20からの情報に従って、図6に示すような上記或る商品Xについての詳細情報画面を表示装置109上に表示する（ステップA4）。この詳細情報画面には、商品Xについての詳細な商品情報の他に、「サービスメニュー」ボタン、「申込」ボタン、「戻る」ボタン、「HOME」ボタンが表示されている。

#### 【0040】

この時点で、商品Xの購入代行を申し込む場合は、ユーザは、「申込」ボタンをマウスでクリックする。これにより、表示制御手段101は、表示装置109に申込画面を表示し、ユーザは、この申込画面を使用して商品Xの購入代行を申し込む。

#### 【0041】

これに対して、画面上に表示された詳細情報にはない更に詳しい情報が必要な場合は、ユーザは、詳細情報画面上の「サービスメニュー」ボタンをマウスでクリックする（ステップA5）。これにより、表示制御手段101は、ユーザにサービスの種類を選択させるための、図7に示すようなサービスメニュー項目画面を表示装置109に表示する。その後、ユーザによって商品下見サービスが選択されると、表示制御手段101は、商品下見サービスで提供する下見項目の一覧を含む、図8に示すような下見項目選択画面を表示する（ステップA6）。下見項目は、カタログ等の一般的な商品情報では分からない、本来であれば自分が実際に店先に行って手にして見なければ分からないような情報、例えば、手触り質感、匂い、細部の拡大写真、丈夫さ等、その商品固有の情報は勿論、その商品以外の類似商品、姉妹商品等の下見も受付可能としている。

#### 【0042】

ユーザは、図8に示した下見項目選択画面上で、代行者40に下見してもらいたい下見項目を選択し、下見項目の選択が完了すると、「選択完了」ボタンをクリックし、続いて「送信」ボタンをクリックする。これにより、表示制御手段101は、送受信部107、インターネット100を介して、商品Xについての下見見積依頼を代行者端末20へ送信する（ステップA7）。この下見見積依頼には、ユーザ端末10-iのユーザに付与されているユーザ番号と、下見サービス

を要求する商品Xのカテゴリ及び商品番号と、ステップA7で選択された下見項目とが含まれる。尚、図8に示した下見項目選択画面上でユーザが下見項目を選択した際、選択された下見項目に関する詳細項目を表示し、その中からユーザに選択させるようにしても良い。例えば、ユーザが下見項目「拡大写真」を選択した場合、詳細項目として撮影枚数等を選択させるための詳細項目を表示し、その中からユーザに撮影枚数等を選択させるようにしても良い。

## 【0043】

ユーザ端末10-iから代行者端末20へ送られた商品Xについての下見見積依頼は、代行者端末20内の送受信手段207で受信され、下見見積手段202に渡される。これにより、下見見積手段202は、ユーザ端末10-iから送られてきた下見見積依頼の内容と、見積用情報記憶部214の内容（各下見項目毎の情報料や、交通費を算出するための情報）と、商品カタログ記憶部211の内容とに基づいて、下見を実施した場合に発生する費用を計算し、見積金額を含む商品Xについての下見サービス見積書を作成しユーザ端末10に送信する（ステップA8）。

## 【0044】

ここで、見積金額の算出は、例えば、次のようにして行う。まず、下見見積依頼に含まれている下見項目を全て抽出する。その後、抽出した各下見項目それぞれに対する情報料を見積用情報記憶部214から取得し、その合計値 $\alpha$ を求める。次に、下見見積依頼に含まれている商品Xのカテゴリ及び商品番号をキーにして商品カタログ記憶部211を検索し、商品Xを販売している販売店の最寄り駅を求める。その後、見積用情報記憶部214に記憶されている運賃情報に基づいて、代行者端末20の設置場所から上記最寄り駅までの交通費 $\beta$ を求める。そして、最後に情報料の合計値 $\alpha$ と、交通費 $\beta$ と、商品見積サービスに係る基本料金 $\gamma$ とを加算し、加算結果（ $\alpha + \beta + \gamma$ ）を見積金額とする。尚、見積金額の算出方法は、これに限られるものではない。

## 【0045】

ユーザ端末10-i内の表示制御手段101は、代行者端末20から商品Xについての下見サービス見積書が送られてくると、それに基づいて図9に示すよう

な下見サービス見積画面を表示する。下見サービス見積画面には、見積金額や、依頼内容の他に、下見を行うか否かを選択するための「下見する」ボタン、「下見しない」ボタンや、「送信」ボタンが設けられている。ユーザは、下見サービス見積画面に表示されている条件で下見を申し込む場合は、「下見する」ボタンをクリックし、続いて「送信」ボタンをクリックする。これにより、下見申込手段103が、送受信部107、インターネット100を介して代行者端末20へ下見申込を送信する（ステップA9）。この下見申込には、ユーザ番号と、下見サービスを依頼する商品のカテゴリ及び商品番号と、下見項目と、見積金額とが含まれている。

## 【0046】

代行者端末20内の下見見積手段202は、送受信部207を介して商品Xについての下見申込を受信すると、それを表示装置209に表示すると共に、ユニークな申込番号（例えば、Y）を付加してサービス申込記憶部215に格納する（ステップA10）。更に、ステップA10では、ユーザ端末10-iに対して、上記申込番号Yを含む下見申込の受領通知を送信する（ステップA10）。

## 【0047】

代行者端末20の代行者40は、申込番号Yの下見申込に基づき、ユーザに代わって商品Xを販売している販売店に行き、商品の下見を行うことになる。代行者40は、商品Xの下見を行うと、入力装置208から下見結果と、申込番号Yとを入力する。尚、下見結果には、ユーザが希望した下見項目について代行者40が実際に商品Xを手にするにより得た情報が含まれている。下見結果管理手段203は、入力装置208から下見結果、申込番号Yが入力されると、それらを対にして下見探索結果記憶部213に格納すると共に、ユーザ端末10-iに対して電子メール等で、申込番号Yを含む下見完了通知を送信する（ステップA11）。また、ステップA11では、下見サービスに伴う費用をユーザ端末10-iのユーザに対して請求するために、下見費用請求をユーザ端末10-iへ送信する処理も行う。この時に請求する金額は、見積金額と同じ金額であり、見積金額は、申込番号Yをキーにしてサービス申込記憶部215を検索することにより取得することができる。また、下見が完了した、サービス申込記憶部215

に格納されている下見申込に、下見が完了したことを示す情報を付加する処理も行う。

## 【0048】

ユーザ端末10-iのユーザは、商品Xについての下見が完了したことが通知されると、代行者端末20に対して、ユーザ番号と、パスワードと、申込番号Yとを送信する。これにより、代行者端末20内の下見結果管理手段203は、パスワードによる本人認証を行い、本人であることを確認すると、下見探索結果記憶部213に格納されている下見結果、探索結果の内の、申込番号Yが付加されている下見結果をユーザ端末10-iへ送信する。ユーザ端末10-i内の表示制御手段101は、代行者端末20から送られてきた下見結果を表示装置109に表示する。ユーザは、この表示を見て商品Xの購入代行を依頼する場合には、続けて画面上で購入代行を依頼するための操作を行う。これにより、購入代行依頼手段106が、ユーザ番号と、申込番号Yと、購入代行を依頼する商品Xのカテゴリ及び商品番号とを含む購入代行依頼を代行者端末20へ送信する（ステップA12）。

## 【0049】

代行者端末20内の購入代行依頼受付手段206は、ユーザ端末10-iからの商品Xについての購入代行依頼を受け付けると、それを購入代行依頼記憶部216に格納すると共に、表示装置209に表示する。代行者端末20の代行者は、ユーザ端末10-iからの購入代行依頼に従って実際に販売店に出向き、商品Xを購入してユーザ端末10-iのユーザへ配送する（ステップA13）。また、ステップA13に於いて代行者は、購入代行サービスの完了した商品を特定するための情報（例えば、申込番号Y）を入力装置208から入力する操作も行う。これにより、購入代行依頼受理手段206が、購入代行依頼記憶部216に登録されている購入代行依頼の内の、上記情報によって特定される購入代行依頼に処理済みを示す情報を付加する。

## 【0050】

以上説明した下見サービスは、ユーザが自分の都合の良い時間に何回でも代行者端末20に依頼することが可能である。従って、ユーザは、商品購入前に、何



回も下見項目を変更して下見サービスを依頼することができる。この結果、ユーザは、自分が納得できる商品のみを購入することが可能になる。

#### 【0051】

次に、ユーザ端末10-iのユーザが、商品探索サービスを利用する場合の動作を説明する。この商品探索サービスは、代行者が提供する商品カタログ中にユーザが希望する商品がない場合に有効なサービスである。

#### 【0052】

図10を参照すると、ユーザは、ユーザ端末10-iを介して、代行者端末20がインターネット100上に開設している商品購入代行ホームページにアクセスし、ユーザ番号とパスワードとを送信する（ステップB1）。これにより、前述したステップA2、A3と同様の処理が行われ、図5に示すような、ユーザが選択したカテゴリについての取扱商品一覧画面が表示装置109の画面上に表示される（ステップB2、B3）。

#### 【0053】

ユーザは、取扱商品一覧画面に表示された商品の中に希望する商品がない場合、カテゴリ選択欄中の「その他」をクリックする。これにより、表示制御手段101は、図7に示すようなサービスメニュー項目画面を表示装置109に表示する。その後、ユーザは、「商品探索サービス」をクリックする（ステップB4）。

#### 【0054】

これにより、表示制御手段101は、図11に示すような探索条件入力画面を表示する。同図に示すように、探索条件入力画面には、ユーザが探索を希望する商品の商品名、カテゴリ、価格等の条件入力欄や、探索エリアの選択欄や、ユーザが探索を希望する商品のイメージを入力するイメージ入力欄や、「送信」ボタンが設けられている。探索条件入力画面が表示されると、ユーザは、各条件入力欄に商品名等を判る範囲で入力すると共に、探索エリアの選択欄に設定されている複数の探索エリア内の、探索を希望するエリアをチェックする（ステップB5）。尚、探索を希望するエリアは、複数選択することができる。

#### 【0055】

また、条件入力欄に入力した情報では表現し切れない条件、商品の具体的なイメージ等がある場合は、入力装置108を用いてイメージ入力欄に入力する（ステップB6）。このイメージ入力欄には、画像データの貼り付けを含め、ユーザが探索して欲しい商品のイメージを自由形式で入力することができる。

## 【0056】

その後、ユーザが「送信」ボタンをクリックすると、探索見積依頼手段104が、ユーザ端末10-iのユーザに付与されているユーザ番号、ステップB5、B6で入力された情報を含む探索見積依頼を代行者端末20へ送信する（ステップB7）。

## 【0057】

この探索見積依頼は、代行者端末20内の送受信部207で受信され、探索見積手段204に渡される。これにより探索見積手段204は、ユーザ端末10-iから送られてきた探索見積依頼の内容と、見積用情報記憶部214の内容とに基づいて、商品の探索を実施した場合に発生する費用を計算し、見積金額を含む探索サービス見積書を作成しユーザ端末10-iに送信する（ステップB8）。

## 【0058】

ここで、見積金額の算出は、例えば、次のようにして行う。まず、探索見積依頼に含まれている探索エリアを全て抽出する。その後、各抽出エリアまでの交通費を算出し、それらを合計する。次に、探索見積依頼に商品名が含まれているか否かを調べる。商品名が含まれている場合には、見積用情報記憶部214に登録されている2つの探索料（商品名が含まれている時の探索料T1と、商品名が含まれていない時の探索料T2との2つであり、 $T1 < T2$ の関係を有している）の内の、探索料T1を選択し、商品名が含まれていない場合は探索料T2を選択する。その後、選択した探索料と、交通費と、探索サービスに係る基本料金とを加算し、その金額を見積金額とする。ここで、商品名が含まれている時の探索料T1を商品名が含まれていない時の探索料T2よりも安くしたのは、商品名が分かっている場合は、商品を容易に探索することができるからである。尚、見積金額の算出方法は、これに限られるものではない。

## 【0059】

ユーザ端末10-i内の表示制御手段101は、代行者端末20から探索サービス見積書が送られてくると、それに基づいて探索サービス見積画面を表示する。探索サービス見積画面には、見積金額や、依頼内容の他に、探索を行うか否かを選択するための「探索する」ボタン、「探索しない」ボタンや、「送信」ボタンが設けられている。ユーザは、探索サービス見積画面に表示されている条件で探索を依頼する場合は、「探索する」ボタンをクリックし、続いて「送信」ボタンをクリックする。これにより、探索申込手段105が、代行者端末20へ探索申込を送信する（ステップB9）。この探索申込には、ユーザ番号と、見積金額と、依頼内容とが含まれている。

## 【0060】

代行者端末20内の探索見積手段204は、送受信部207を介して探索申込を受信すると、それを表示装置209に表示すると共に、ユニークな申込番号（例えば、Zとする）を付加してサービス申込記憶部215に格納する（ステップB10）。更に、ステップB10では、上記申込番号Zを含む探索申込受領通知をユーザ端末10-iへ送信する。

## 【0061】

代行者端末20の代行者40は、申込番号Zの探索申込に基づき、ユーザに代わってユーザが希望している商品を探索する。代行者40は、ユーザが希望する商品を探し出すと、入力装置208から探索結果と、申込番号Zとを入力する。尚、探索結果には、探し出した商品の写真、販売店、最寄り駅、価格、大きさ等が含まれる。探索結果管理手段205は、入力装置208から探索結果、申込番号Zが入力されると、それらに対して下見探索結果記憶部213に格納すると共に、ユーザ端末10-iに対して電子メール等で申込番号Zを含む探索完了通知を送信する（ステップB11）。また、ステップB11では、探索サービスに伴う費用をユーザ端末10-iのユーザに対して請求するために、探索費用請求をユーザ端末10-iへ送信する処理も行う。更に、ステップB11では、サービス申込記憶部215に格納されている下見申込、探索申込の内の、申込番号Zの探索申込に処理が終了したことを示す情報を付加する。

## 【0062】

ユーザ端末 10-i のユーザは、探索完了が通知されると、代行者端末 20 に対して、ユーザ番号と、パスワードと、申込番号 Z とを送信する。これにより、代行者端末 20 内の探索結果管理手段 205 は、パスワードによる本人認証を行い、本人であることを確認すると、下見探索結果記憶部 213 に格納されている下見結果、探索結果の内の、該当する探索結果をユーザ端末 10-i へ送信する。ユーザ端末 10-i 内の表示制御手段 101 は、代行者端末 20 から送られてきた探索結果を表示装置 109 に表示する。ユーザは、この表示を見て探索された商品の購入代行を依頼する場合には、続けて画面上で購入代行を依頼するための操作を行う。これにより、購入代行依頼手段 106 が、ユーザ番号、申込番号 Z を含む購入代行依頼を代行者端末 20 へ送信する（ステップ B12）。

#### 【0063】

代行者端末 20 内の購入代行依頼受付手段 206 は、ユーザ端末 10-i からユーザ番号、申込番号 Z を含む購入代行依頼を受け付けると、それを購入代行依頼記憶部 216 に格納すると共に、下見探索結果記憶部 213 から申込番号 Z が付与されている探索結果を取り出し、それを表示装置 209 に表示する。代行者端末 20 の代行者 40 は、表示装置 209 に表示された探索結果に基づいて、実際に販売店に出向き、商品を購入してユーザ端末 10-i のユーザへ配送する（ステップ B13）。また、ステップ B13 に於いて代行者 40 は、購入代行サービスの完了した商品を特定するための情報（例えば申込番号 Z）を入力装置 208 から入力する操作も行う。これにより、購入代行依頼受付手段 206 が、購入代行依頼記憶部 216 に登録されている購入代行依頼の内の、上記情報によって特定される購入代行依頼に処理済みを示す情報を付加する。

#### 【0064】

##### 【発明の効果】

第 1 の効果は、ネットワーク販売を利用していない店舗で販売されている商品をユーザが直接販売店に出向くことなく購入できるということである。その理由は、ユーザ端末のユーザが、商品カタログの中から購入代行を希望する商品を選択すると、ユーザ端末から代行者端末へ上記商品の購入代行依頼が送られ、この購入代行依頼に従って、代行者がユーザに代わって上記商品を購入するからであ

る。

【0065】

第2の効果は、地方など遠方のユーザが、代行者端末が提供している商品カタログに載っている商品情報だけでは分からない、購入しようとする商品の木目細かな情報、知りたい情報を得ることができ、あたかも自分で商品を手にしたかのような疑似体験によって商品を購入するか否かを定めることができることである。その理由は、ユーザがネットワークを介して代行者に商品の下見を依頼できるようにしたからである。

【0066】

第3の効果は、代行者端末が提供している商品カタログに載っていない、ユーザが希望する商品の購入を、ユーザが実際に販売店に出向くことなく行えるということである。その理由は、ユーザがネットワークを介して代行者に商品の探索を依頼し、代行者によって探索された商品が希望するものであった場合、代行者に対して上記商品の購入を依頼するようにしているからである。

【0067】

第4の効果は、遠方の消費者が簡単には手にすることのできない希少商品を扱うことにより、消費者の購入する前に知りたいと言う潜在ニーズに働きかけ、代行者が顧客拡大を図れることである。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施例のブロック図である。

【図2】

ユーザ端末10-iの構成例を示すブロック図である。

【図3】

代行者端末20の構成例を示すブロック図である。

【図4】

ユーザが商品下見サービスを利用する際の処理例を示す流れ図である。

【図5】

取扱商品一覧画面の一例を示す図である。

【図 6】

詳細情報画面の一例を示す図である。

【図 7】

サービスメニュー項目画面の一例を示す図である。

【図 8】

下見項目選択画面の一例を示す図である。

【図 9】

下見サービス見積画面の一例を示す図である。

【図 1 0】

ユーザが商品探索サービスを利用する際の処理例を示す流れ図である。

【図 1 1】

探索条件入力画面の一例を示す図である。

【符号の説明】

1 0 - 1 ~ 1 0 - n ... ユーザ端末

1 0 1 ... 表示制御手段

1 0 2 ... 下見見積依頼手段

1 0 3 ... 下見申込手段

1 0 4 ... 探索見積依頼手段

1 0 5 ... 探索申込手段

1 0 6 ... 購入代行依頼手段

1 0 7 ... 送受信部

1 0 8 ... 入力装置

1 0 9 ... 表示装置

1 1 0 ... 記憶装置

K 1 ... 記録媒体

2 0 ... 代行者端末

2 0 1 ... 商品カタログサービスメニュー送信手段

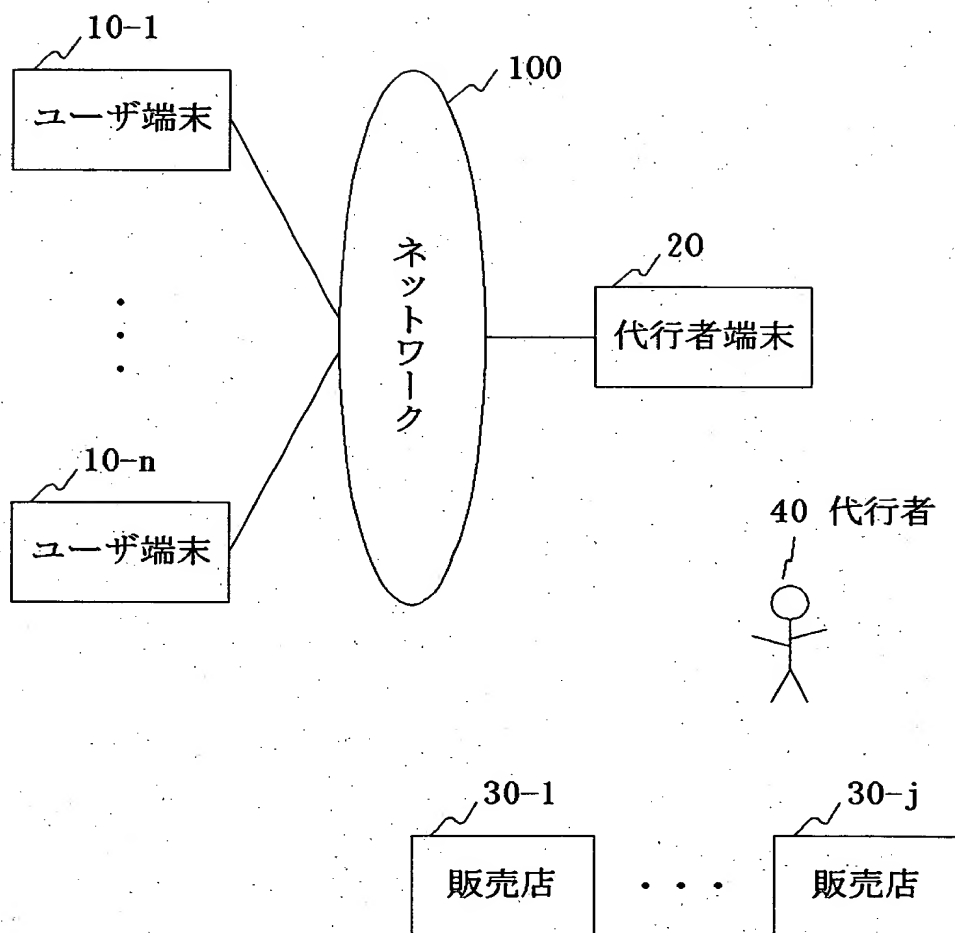
2 0 2 ... 下見見積手段

2 0 3 ... 下見結果管理手段

204…探索見積手段  
205…探索結果管理手段  
206…購入代行依頼受付手段  
207…送受信部  
208…入力装置  
209…表示装置  
210…記憶装置  
211…商品カタログ記憶部  
212…サービスメニュー記憶部  
213…下見探索結果記憶部  
214…見積用情報記憶部  
215…サービス申込記憶部  
216…購入代行依頼記憶部  
217…ユーザ情報記憶部  
K2…記録媒体  
30-1～30-j…販売店  
40…代行者  
100…ネットワーク

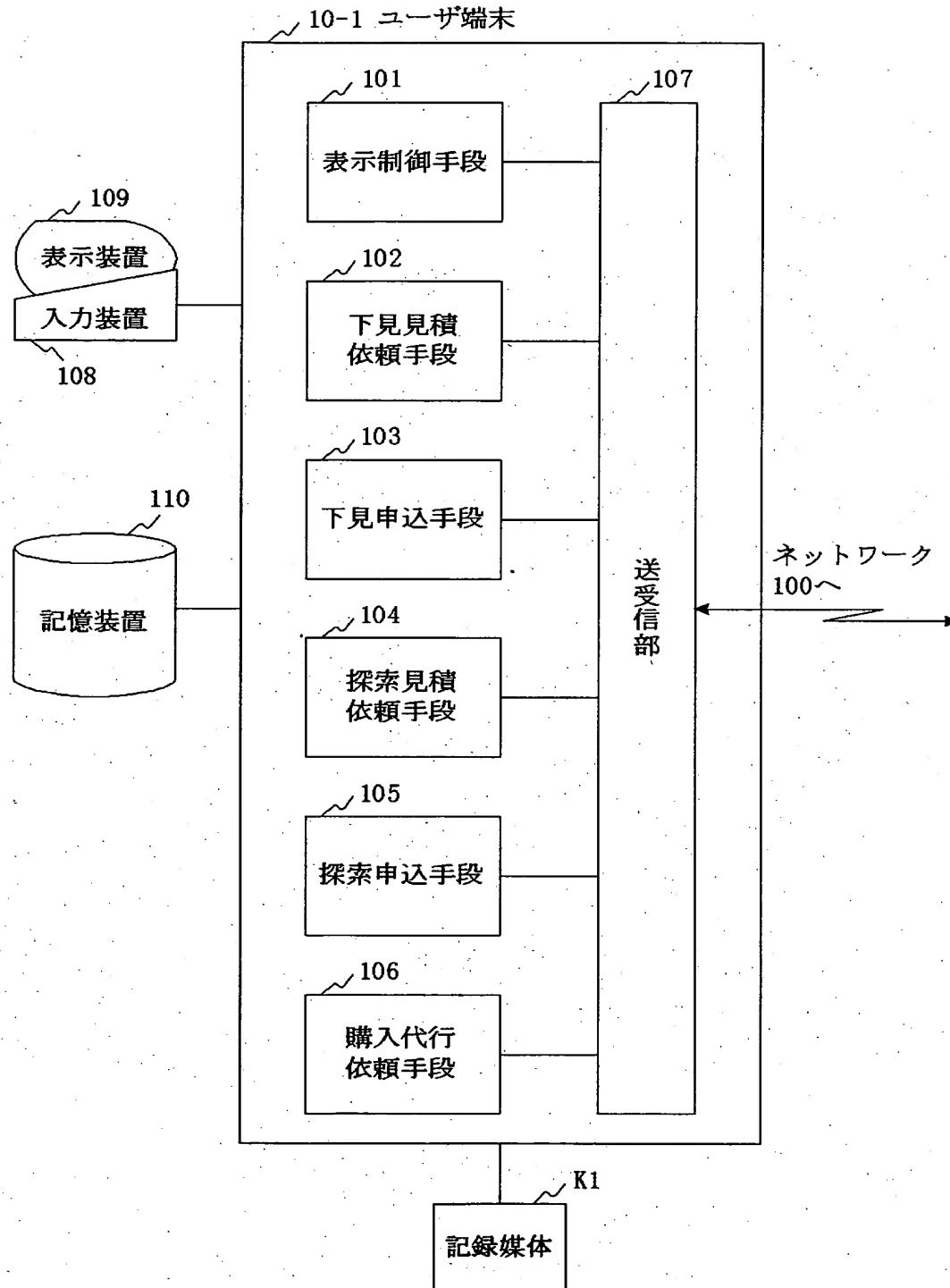
【書類名】 図面

【図1】

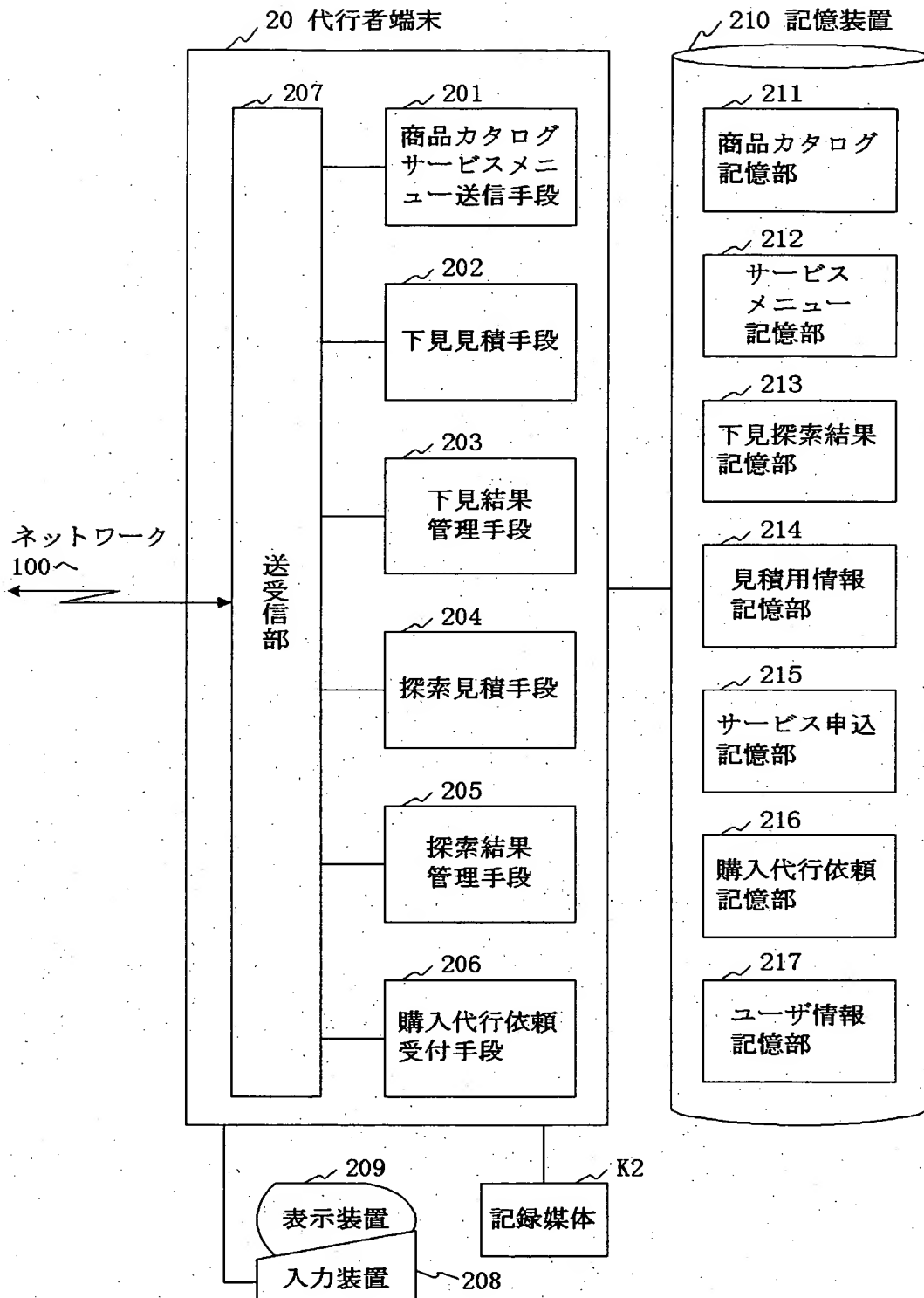




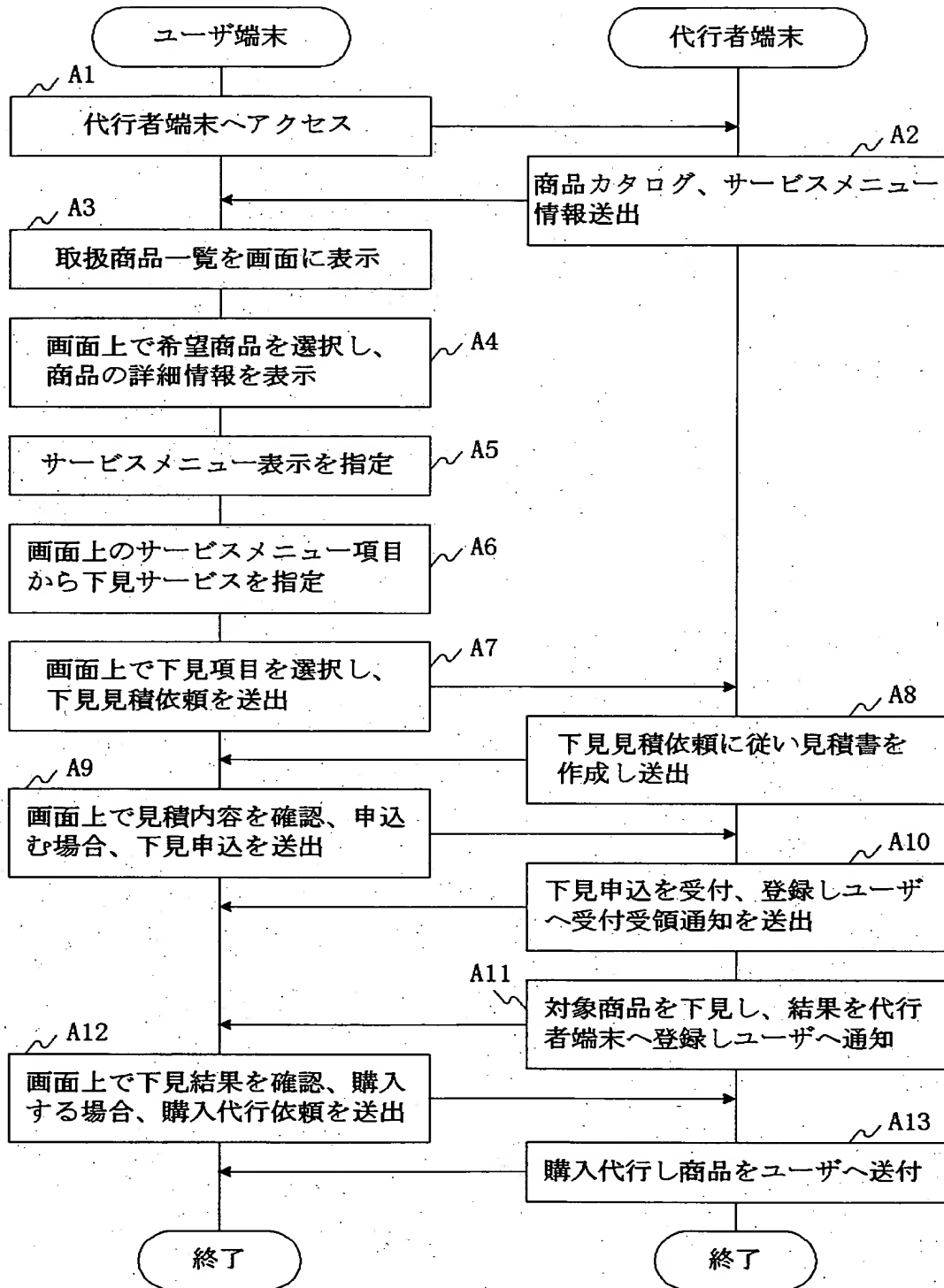
【図 2】



【図3】



【図 4】



【図 5】

取扱商品一覧画面

ユーザNo. 999999		カテゴリ おもちゃ	
No. 商品名	概要説明	価格	販売店名 最寄り駅 詳細
1	コーラ型カメラ 小型でインテリアにも	¥3,500	渋谷 A店 渋谷 <input checked="" type="checkbox"/>
2	ロボット犬 光って吠える	¥1,980	新宿 B店 新宿 <input type="checkbox"/>
3	ビバヒル人形 人気番組の...	¥2,000	恵比寿 C店 恵比寿 <input type="checkbox"/>
...			
9	パックマン人形 可愛い小物	¥ 800	池袋 S店 池袋 <input type="checkbox"/>

home
前頁
次頁

---

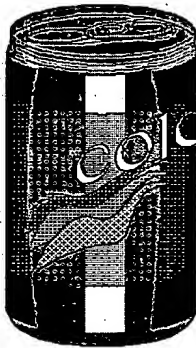
カテゴリ

アクセサリ 輸入雑貨 フィギュア 中古LP タレントグッズ 古着 ピンテージ  
 ブランド品 便利グッズ パソコン アウトドア おもちゃ その他

【図6】

詳細情報画面

No.1: コーラ型カメラ      ¥3,000



- この商品は、コーラの缶カメラです。
- サイズは、縦幅：約12.5センチ、  
横幅：約5.5センチとなっています。
- この商品は、インテリア小物としても、カメラとしても最適です。

サービスメニュー

申込

戻る

HOME

【図7】

サービスメニュー項目画面

☐商品下見サービス

☐商品探索サービス

【図8】

下見項目選択画面

<u>サービスメニュー1</u>		<u>商品下見サービス</u>
下見してほしい情報を次の中から選んで下さい		
手触り質感	匂い	
重さ	拡大写真	
評判・人気	他店情報	
丈夫さ	似た物情報	選択完了
色合い	その他	送信

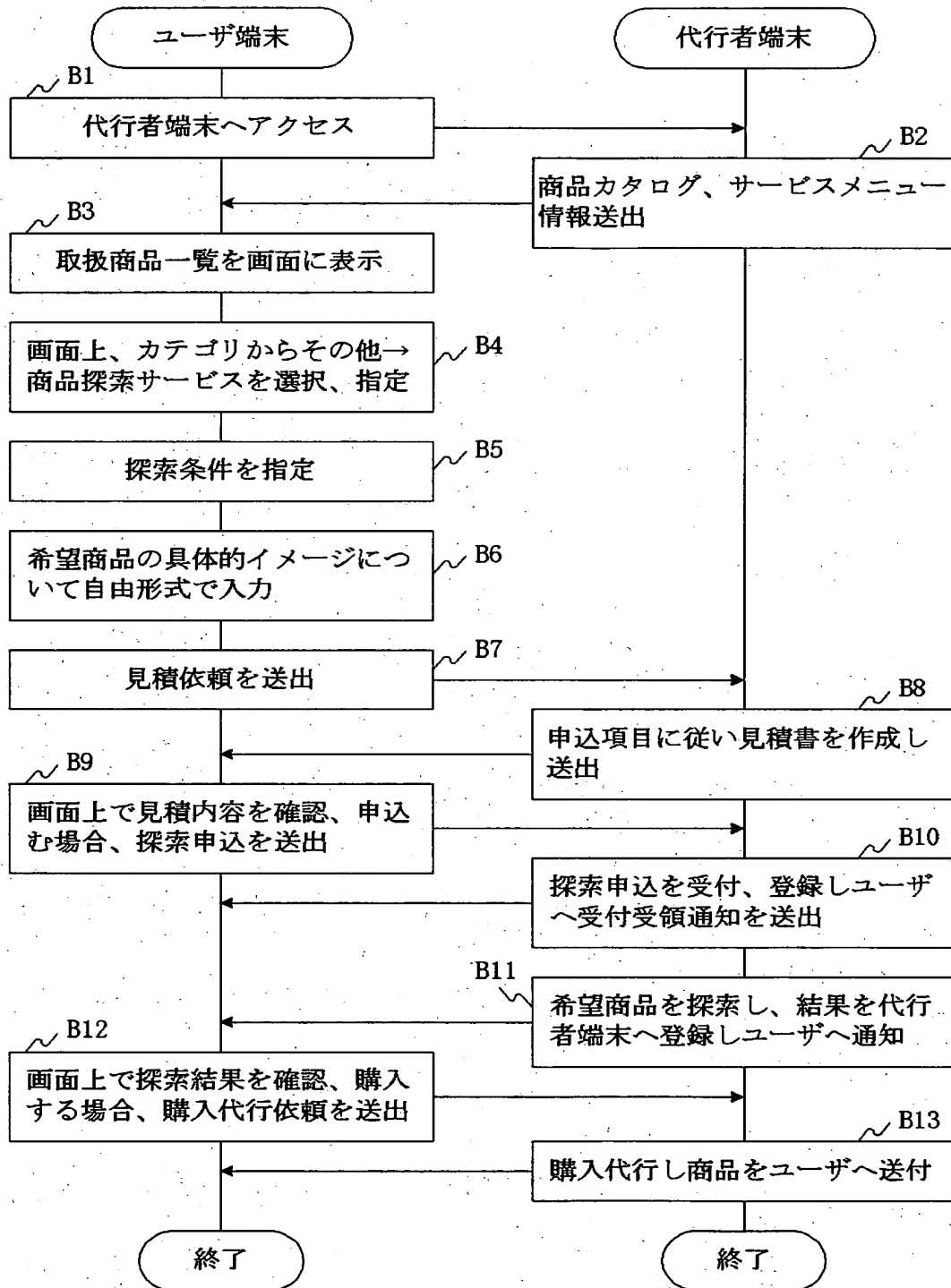
【図9】

下見サービス見積画面

商品下見サービス お見積書	
ユーザNo. 999999	<div>下見しない</div> <div>下見する</div> <div>送信</div>
<依頼内容>	
商品名	コーラ型カメラ
カテゴリ	おもちゃ 商品No. 1
販売店	渋谷A店
依頼項目	手触り質感、重さ、評判人気、丈夫さ、 似た物情報
お見積金額 ￥1,260	
(明細：情報料¥α 交通費¥β 基本料¥γ)	



【図 10】



【図11】

探索条件入力画面

商品名	<input type="text"/>
カテゴリ	<input type="text"/>
価格	<input type="text"/>
⋮	⋮

探索エリア    ☐ 渋谷    ☐ 新宿    ☐ 恵比寿  
                  ☐ 池袋    ☐ . . .

イメージ入力欄

送信

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ネットワーク販売を利用していない販売店で販売されている商品を、ユーザが実際に販売店に出向かずに購入できるようにする。

【解決手段】 代行者端末20は、ネットワーク販売を利用していない販売店30-1～30-jで販売されている商品の商品カタログをアクセスのあったユーザ端末10-iへ送信する。ユーザ端末10-iのユーザは、商品カタログに載っている商品情報だけでは、商品を購入するか否かを決定できない場合、代行者端末20へ下見申込を送る。これにより、代行者40が販売店に出向き、ユーザによって指定された下見項目（例えば、手触り、拡大写真等）の下見を行う。下見結果は、ユーザ端末10-iへ送られ、ユーザはこの下見結果に基づいて上記商品を購入するか否かを決定する。商品を購入する場合は、代行者端末20へ上記商品の購入代行依頼を送る。これにより、代行者40がユーザに代わって上記商品を購入し、ユーザへ配送する。

【選択図】 図1

【書類名】 出願人名義変更届（一般承継）

【整理番号】 62620028

【提出日】 平成13年 7月25日

【あて先】 特許庁長官殿

【事件の表示】

【出願番号】 特願2000-343151

【承継人】

【識別番号】 000227205

【氏名又は名称】 エヌイーシーインフロンティア株式会社

【承継人代理人】

【識別番号】 100088959

【弁理士】

【氏名又は名称】 境 廣巳

【提出物件の目録】

【物件名】 承継人であることを証明する登記簿謄本 1

【援用の表示】 平成13年7月23日提出の特願2000-36064  
4の出願人名義変更届に添付のものを援用する。

【物件名】 承継人であることを証明する承継証明書 1

【援用の表示】 平成13年7月23日提出の特願2000-36064  
4の出願人名義変更届に添付のものを援用する。

【包括委任状番号】 0110182

【プルーフの要否】 要

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日 1990年 8月29日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都港区芝五丁目7番1号

氏 名 日本電気株式会社

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000227205]

1. 変更年月日 1995年 1月20日  
[変更理由] 住所変更  
住 所 神奈川県川崎市高津区北見方2丁目6番1号  
氏 名 日通工株式会社
2. 変更年月日 2001年 6月 4日  
[変更理由] 名称変更  
住 所 神奈川県川崎市高津区北見方2丁目6番1号  
氏 名 エヌイーシーインフロンティア株式会社